

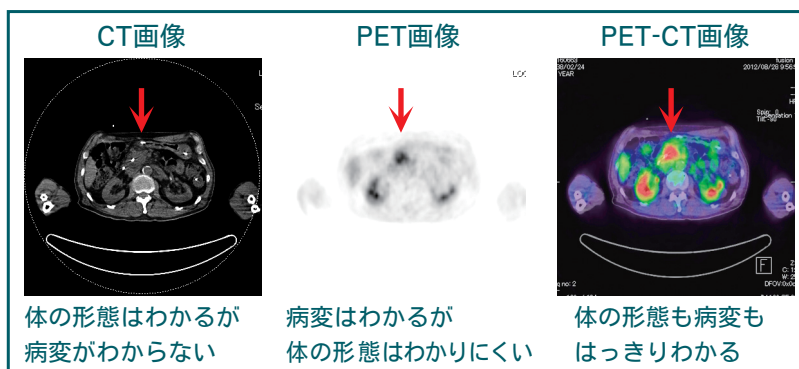
兵庫県において、がんは、昭和53年に三大生活習慣病(がん、脳血管疾患、心疾患)による死亡率で、脳血管疾患を抜いて、死亡原因の第一位となりました。脳血管疾患、心疾患による死亡率がほぼ横ばい状態であるのに対し、がんによる死亡率は年々増加しています。この状況下で、がんをできるだけ早期発見し、また、早期治療につなげていくことは大変価値があることだと考えます。早期発見のためには、まずがん検診を受けることが重要です。とはいえ、症状もないのに全身の検査を受けることは、なかなか難しいことだと思います。



しかし、**PET-CT検査は、一回の検査で全身の病変を見ることができます。また転移・再発の発見に優れるため、がん検診にとっても適しています。**この数年で広く普及し、がん診断の分野では欠かすことができない検査となりました。PET-CT検査を実施している医療機関は、兵庫県内で13施設(2012年8月現在)あり、当院でも、毎年1,000人以上の方が検査を受けておられます。

PET-CT検査とは? ～さらに進化したがんの画像診断法～

一般的に、がん細胞は正常細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込みます。FDGと呼ばれるブドウ糖に似た弱い放射線の出る薬剤を体内に注射すると、がん細胞に多くの薬剤が集まり、そこから放出される放射線をPETカメラと呼ばれる特殊な検出器で撮影することで、がんの有無を調べることができます。ただ、PET検査では正確な位置を確認することは難しく、がんの位置は別にCTで撮影して確認していました。しかし、**PET-CT検査は、一度にPETとCTの両方の画像を撮ることが出来るので、より早くより正確に、がんの大きさや形・位置を特定することができます!**



PET-CT検査のメリット

- **一度に全身の検査が可能** 臓器ごとにいくつもがん検査を受ける必要がありません。
- **楽な検査** 検査薬を注射して1時間安静の後、検査用の服を着たまま検査台に30分間横になるだけです。特に、大腸がんや乳がん、子宮がんなどの検査にありがちだった苦痛や不快感、精神的負担などはありません。
- **安全で痛みもない** FDGがほとんど副作用を起こすことのない薬剤であり、心配することなく検査ができます。
- **良性・悪性の識別** 今までの画像検査では判断に悩むような腫瘍について良性、悪性の判断ができます。
- **転移や再発の発見** 以前では見落とされがちであった転移や再発に優れます。

ただし、PET-CT検査は、万能な検査という訳ではありません。1 cm以下の小さいがんや、糖代謝の低いがん、がんの存在部位によっては、診断が困難な場合があります。そのような場合は、CTやMRI、超音波、血液検査などを併用した総合的な検査を受けることで、より確実にがんを見つけることが可能となります。がん治療後の経過観察では、再発や転移をできるだけ早く見つけることが大切です。PET-CT検査は、それらの診断に威力を発揮します。しかも、2010年4月に、FDGを用いたPET-CT検査は、早期胃がんを除く全ての悪性腫瘍への健康保険の適応が認められました。PET-CT検査の実施や保険適応となるためには、医師の判断が必要となりますので、かかりつけの先生もしくは当院(核医学診断科)にご相談ください。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 **関西ろうさい病院**
 尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)
 HP <http://www.kanrou.net/>
 携帯版HP <http://kanrou-mobile.jp/>
 ブログ <http://kanrou.blog106.fc2.com/>
 発行人 林 紀夫 編集人 堤 圭介

